

一 般 質 問 要 綱

平成 27 年第 7 回 9 月 定 例 会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	10	後藤 誠 司	1 女性職員の登用に ついて	(1) 過去 3 年間の職員全体に占める女性職員数及び割合を伺います。 (2) 過去 3 年間の年齢別男性職員数及び女性職員数と、その割合を伺います。 (3) 過去 3 年間の職位別男性職員数及び女性職員数と、その割合を伺います。 (4) 管理職への女性職員登用数及び県内他市との過去 3 年間に渡る比較を伺います。 (5) 育児休業の取得状況を男性職員、女性職員ごとに伺います。
			2 本市の健診につ いて	(1) 特定健診、胃ガン検診及び大腸ガン検診について過去 3 年間の受診率の推移を伺います。 (2) 県内他市との過去 3 年間の比較はどうか伺います。 (3) 集団健診と施設健診の過去 3 年間の割合はどうか伺います。 (4) 一昨年より推定摂取食塩量調査をはじめたが、分析結果はどうか伺います。また、本市男性の平均寿命が短いということで、生活習慣病改善のために、はじめたと思うが、効果についてはどのように考えるかも伺います。
			3 経営所得安定対策 について	(1) 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）について ア 昨年度の米価下落に対し、本市の交付実績（戸数、面積、交付額）について伺います。 イ 激変緩和措置としての交付実績について伺います。 (2) 畑作物の直接支払交付金について ア 今年度から認定農業者、認定就農者及び集落営農組織に対象者が限定されたが、その影響と実績について伺います。 イ 認定農業者数の過去 3 年間の推移について伺います。 ウ そばについては、今年度から検査後の規格外品は、支援対象から外されることが懸念されるが、影響についてどう考えるか伺います。
2	8	遠藤 吉 正	1 まちづくり政策に ついて	(1) 市庁舎敷地を含む市役所通りの整備の考え方について伺う。 (2) 国登録有形文化財の現状と文化財を活

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				用したまちづくりについて伺う。 (3) 甲斐本家の保存・継承と甲斐本家を拠点としたまちづくりについて伺う。
			2 定住・二地域居住政策について	(1) 本市の現状と課題について伺う。 (2) 今後の取り組みと推進体制について伺う。
			3 若者定着等に係る政策について	(1) 新卒高校生の地元定着のための取り組みについて伺う。 (2) 県立テクノアカデミー会津との連携について伺う。 (3) 定着のための地元企業との連携について伺う。 (4) 地元回帰のための取り組みについて伺う。
3	9	渡部一樹	1 行政改革について	(1) これまでの具体的成果と今後の取り組み方針について伺いたい。 (2) 自治基本条例の導入について伺いたい。 (3) 指定管理者制度導入による具体的な成果と今後の方針について伺いたい。
			2 公金徴収一元化について	(1) 検討状況について伺いたい。 (2) マイナンバー制度の導入によって実質一元化となるのか伺いたい。
			3 若者定住について	(1) 子育て世代をターゲットにした住宅政策の必要性について伺いたい。 (2) 移住者に対する定住支援策について伺いたい。
4	7	上野利一郎	1 平成 27 年度以降の行政改革の方向性について	6 月定例会に引き続き、行政改革を推進していく過程で、行政体制の再構築・再検討すべき内容として、市民への広報サービスと広聴機能、特に情報の伝達方法等について特化した内容をお伺いします。 (1) 平成 20 年に、喜多方市高度情報化計画が策定された。実施計画は 5 年であったが、現在 7 年経過して、情報端末などの大幅な技術革新や通信環境のインフラの進歩が顕著な中、当初の計画内容と差異が増えていると感じるが、更新案の策定予定があるのか、お伺いします。 (2) 行政情報を市民に発信する際、情報の内容の正確性の検討や発信時期の決定等、最終決定する責任者の位置づけはどのようになっているか、お伺いします。 (3) 平成 25 年以降、本議会でも情報発信の手法として、SNS の利活用の検討を市当局に求める意見が出されたが、その後の調

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>査・検討経過の進捗状況について、お伺いします。</p>
			<p>2 喜多方市の小中学校の学習環境について</p>	<p>市内の保護者にとって児童・生徒の学力の向上は必須の願いの一つであり、学校と家庭との協働体制でその成果を上げるべくお互いに努力している経緯があるが、そこでお伺いします。</p> <p>(1) 本市の小中学生の学力向上プロジェクトは、各年度で検討、実施されているが、これまでの成果についてどう考察されているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 平成 27 年度以降、複式学級を実施せざるを得ない小学校が増えてくると予想されている。複式学級担任教諭の実務負担が単学級担任教諭より、かなり増えていると懸念するが、学習実態としてはどのようなになっているのか、お伺いします。</p> <p>(3) 学力向上のための学校の授業日数のさらなる確保の観点から、現在の 3 学期制から 2 学期制への制度移行が有効ではないかと考えるが、2 学期制について検討されたことがあるのか、お伺いします。</p>
			<p>3 公共施設の新規の建設計画工程と既存施設の利活用について</p>	<p>本市では学校施設の一部の建築物も含め、公共施設の新規の建設計画が進行中である。また、市内には既存の施設が使われないまま存在し、まだ利活用が決定されていないが、そこでお伺いします。</p> <p>(1) 新規の施設に対する建築基本計画の前段階での建築施設の要求仕様の仕様書作成時に、市当局以外の外部評価や専門家の意見を集約し、作成するような作業工程があるのかどうか、お伺いします。</p> <p>(2) 市内に存在する旧商業高校跡地の利活用については、本議会でも議論されてきたが、地方創生の観点から、この跡地利活用の有効性の検討と総合戦略計画の中での取り扱いについて、お伺いします。</p> <p>(3) 本市では公共施設総合管理計画を策定中である。平成 28 年度中には策定されると過日アナウンスされたが、その作成予定の内容について、どのような項目が盛り込まれようとしているのか、お伺いします。</p>
			<p>4 喜多方市のマスコットについて</p>	<p>本市には、公認のゆるキャラ（「ゆるいマスコットキャラクター」の略）が存在していないと認識しています。ゆるキャラの条件</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>は、郷土愛に満ち溢れた強いメッセージ性があること。立ち居振る舞いが不安定かつユニークであること。愛すべき、ゆるさを持ち合わせていること。であるが、そこでお伺いします。</p> <p>(1) 本市には、喜多方観光物産協会所属で喜楽里博のマスコットとして「みんなべえ」が存在し、知名度も浸透し、てぬぐい、バンダナやその他ノベルティも増えている。この「みんなべえ」を本市全体の公認のゆるキャラとして認証する検討をした経緯があるのか、お伺いします。</p>
5	24	佐原正秀	<p>1 田園回帰での農村活性化にどう対応するかについて</p> <p>2 低コスト新稲作技術の取り組みについて</p>	<p>都市部の若者を中心に豊かな環境や新しい生活様式を農村に求める、田園回帰の動きが見られることから、都市部で生活する若者らにアンケート調査を実施した結果、性別や年齢構成を見れば、若い男性ほど定住願望が強く、特に 20 代の男性は 47.3%の方がいると回答しております。全体的には女性の関心はやや低いものの、それでも 20 代から 60 代まで 3 割以上の方に定住願望が確認できたと、農業白書で発表されております。</p> <p>そこで本市の現状について伺います。</p> <p>(1) 移住・定住の促進と新規就農者の育成と現状の課題は。</p> <p>(2) これらの若者を農村に移住させるために取り組む対策をどのようにしますか。</p> <p>(3) 地域の結びつきを強化するには、どのように取り組みますか。</p> <p>(4) 地域貢献型・地域循環型を活かした農村の活性化にいかに取り組みますか。</p> <p>(5) 良好な景観形成と文化伝承等が共生する社会の取り組みをどうしますか。</p> <p>(6) 田園回帰実現に向けた方策を推進する実践活動をどう行いますか。</p> <p>水稻の直播栽培の面積が増加しており、このことは春作業の省力化、コスト削減の切り札として注目され、作付面積は 10 年間で倍増され全国の現状では、作付の約 1 割を超える県も多数あるようです。これは農水省も取り組みを支援し、面積拡大に弾みがついているようで、中でも、より省力化が図られる乾田直播への関心が高まっております。</p> <p>そこで本市の現状について伺います。</p> <p>(1) ここ数年の乾田直播栽培面積の作付状</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>況はどのようになりますか。</p> <p>(2) 乾田直播栽培の問題点として考えられることは何ですか。</p> <p>(3) 水管理に対する地域の問題をどのように対応されましたか。</p> <p>(4) 直播栽培が労働力削減と低コストに結びつけることが、どのように可能となりましたか。</p> <p>(5) 機械購入に対する助成措置の対応について、どのようにされましたか。</p> <p>(6) 米価低迷対策として、今後の低コスト作付体系の指導強化をどう進めますか。</p>
			3 任期付職員の採用と活用について	<p>地方公共団体の運営においては、公務の中立性の確保や職員の長期育成を基本とし、職員が職務に安んじて精励できることによる公務の能率性の追求、企画立案やサービスの質の観点から、今までは任期の定めのない常勤職員が中心になることを原則としているが、近年、地方公共団体の現場においては、多様な行政サービスへの対応の必要性とともに、働く人の側からも様々な働き方へのニーズが高まっていることから、よりよい行政運営のために、任期付職員による専門的な知識・経験または優れた見識を有する者の採用の円滑化を図ることが必要になってまいりました。</p> <p>そこで本市の現状と今後の対応について伺います。</p> <p>(1) 任期付職員の採用について、今後どのように対応しますか。</p> <p>(2) 採用される側から見た任期付の意義と今後の課題はどうしますか。</p> <p>(3) 近年、法務有資格者を自治体職員として採用しているケースが増えているようですが、どのように考えますか。</p> <p>(4) 任期付職員の活用で、目指す時代を見据えた戦略的な都市づくりを進めるべきと考えますが、どう思われますか。</p>
			4 学校教育法の一部改正に伴う本市の取り組みについて	<p>小中連携・一貫教育に取り組む学校が、全国市町村においては、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等(いわゆる中1ギャップ)に直面し、小学から中学への接続を円滑化する必要性を認識し、小中連携・一</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>貫教育に取り組み始めたケースが見られます。特に学校間の連携、接続に関する現状と課題認識においても述べたとおり、児童生徒の発達が早まっていることを踏まえ小学校高学年から中学校入学後までの期間に着目し、この期間に重点的な取り組みが行われている事例が多く見られることから、本市においての対応について伺います。</p> <p>(1) 学校教育法の一部を改正する法律案が可決されたことにより、本市としての取り組みについて、どのように対応されますか。</p> <p>(2) 教育課程の編入はどのようにしますか。</p> <p>(3) 教育課程上の区分（小中あわせて9年）について、どう考えますか。</p> <p>(4) 総合的な学習の時間、教科等の時数を削減し、地域の特徴を活かした新しい教科設置の取り組みはどうしますか。</p> <p>(5) 乗り入れ指導の実施の考え方について、どう対応しますか。</p> <p>(6) 学校間の連携・協力体制の強化については、どのような取り組みをしますか。</p> <p>(7) 地域との連携（地域とともにある学校）づくりは、どのようにしますか。</p> <p>(8) 通学区域等についての問題をどうしますか。</p> <p>(9) 小中連携・一貫教育を進めるにあたり、校地・校舎等が離れている場合の問題をどう考えますか。</p>
6	19	佐藤 一栄	1 旧日中線跡地の利活用について	<p>(1) 旧日中線跡地の利用については、旧喜多方市では、主に日中線記念自転車歩行者道・県道・市道に利用し、旧熱塩加納村では、主に県道・村道に利用してきましたが、これまで利活用されない財政課で管理している土地、特に上三宮・譲屋線の交差点から北側 400mの遊休地について、喜多方市としては、どのように考えているのか伺います。</p> <p>(2) 平成 18 年の市町村合併前に旧熱塩加納村では、旧喜多方市に上三宮・譲屋線交差点から北側 400mの道路改良を申し入れたところ、断られたと聞き及んでいますが、合併して均衡ある発展を考えた場合、道路改良をどのように捉えているのか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 空き家対策について	<p>(3) 将来、上三宮・譲屋線が道路改良されれば、国道 121 号から新潟への近道としても利用が拡大されると思いますが、いかがか伺います。</p> <p>(1) 平成 26 年度に空き家の実態調査を行い、平成 27 年度からは空き家所有者の意識・意向を調査し、利活用可能な空き家の所有者から受けた情報提供の内容を台帳に盛り込むこととしていますが、その内容と進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 空き家の利用・申し込みなど、「喜多方市空き家情報カルテ」に対する問い合わせの状況について伺います。</p> <p>(3) 空き家対策については、奥が深く大変手間のかかる仕事だと思いますが、担当している職員は何名か伺います。</p> <p>(4) 今後、空き家所有者の意向調査を行い、賃貸借等の意向があるかどうかを確認して不動産業者と連携をする場合、その具体的な内容について伺います。</p>
			3 高郷中学校寄宿舎の利活用について	<p>(1) 寄宿舎の利活用の現状について伺います。</p> <p>(2) 寄宿舎の利活用については、運営・諸方策等について、作業部会・庁内検討委員会が設置され、検討されたことと思いますが、その内容と進捗状況について伺います。</p> <p>(3) 県営荻野漕艇場の災害復旧も終わり、漕艇場の利用も元に戻ったと思われま。そこで寄宿舎を民宿組合の皆さんに管理してもらうのがベストだと思われま。話し合いがなされているのか、話し合いがなされている場合、その内容について伺います。</p>
7	3	小島 雄一	1 喜多方市における人口減少問題対策について	<p>喜多方市の人口減少問題が深刻であることは、周知の事実であります。現状のままであれば 10 年たらずに 4 万人を割り、23 年後には 3 万人を割り、国が指定した 2060 年(45 年後)には、16,019 人になってしまうと推計されています。まさに、消滅一步手前という状況であります。人口問題は市政全般に影響を及ぼす根本問題でありますので、その対策が急がれるところであります。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 晩婚化、非婚化、離婚率の上昇が言われ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ていますが、実態はどのようになっていますか。</p> <p>(2) 結婚に対する意識の変化が指摘されていますが、その原因と対策についてお伺いします。</p> <p>(3) 自由恋愛だけでは結婚に至らない多数の若者のために、県で実施している「世話やき人制度」が有効であると思いますが、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>(4) 青年の意識の変化に対応するためには、生涯教育の分野の関わりが必要であると思いますが、如何でしょうかお伺いします。</p>
			2 農業の 6 次化について	<p>産業の振興なくして雇用はありません。企業を誘致することも重要ですが、今ある地場産業を援助し、その発展拡大を図る必要があります。特に農業において中核農家が成長し、安定した収益を上げていくためには、規模拡大と共に 6 次化による農産品の付加価値を上げていく必要があります。</p> <p>そこで以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 市による 6 次化対策の現状は、どのようになっていますかお伺いします。</p> <p>(2) 牛肉、アスパラ、キュウリ、ミニトマト等、全国より優秀な農産品の拡大と 6 次化をプロジェクトとして進めては如何でしょうかお伺いします。</p> <p>(3) J A との連携について、合併した J A との連携はどのようになるのか、喜多方ブランドを今後どのように進めるのかお伺いします。</p>
8	25	山口 和 男	1 土地改良区の賦課金について	<p>利用権を設定した農用地については、出し手・受け手、どちら側が支払う義務を負うのか。</p>
			2 農業水利施設の大規模改修について	<p>(1) 平成 28 年度から 35 年度までの 8 年間で約 54 億円の事業費との説明であるが、積算の根拠は。</p> <p>(2) 内、負担対象事業費はいくらか。</p> <p>(3) 国・県・地元（市、受益者）のそれぞれの負担割合は。また、負担割合は法律事項なのか。</p> <p>(4) 市負担分についての考え方は。</p> <p>(5) 受益者負担分として 10 アール当たり、いくらになるのか。</p> <p>(6) 事業の施工申請には、3 条資格者の 3 分</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				の 2 以上の同意が必要だが、その状況は。
			3 蔵のまち喜多方について	4,200 棟を超える蔵の保存、維持、継承の考え方を問う。
			4 小田付地内の伝建地区（伝統的建造物群保存地区）指定に向けた取り組みについて	(1) 東京藝大との委託契約後の取り組み状況は。また、その中で見えてきた課題は何か。 (2) お盆過ぎに、本格的調整に入っているが、降雪までにはそれを終了し、住民説明会を開催し、住民の意識の統一を図り合意形成に努めることが必要ではないか。また、そのためには、事務局体制の強化が必要であり、併せて、財源が無い中では事業が進まないの、年度内の条例化、市からの助成が必要と考えるが、27 年度あるいは 28 年度に向けての財源のあり方も含めて、いかがか伺う。 (3) 伝建エリアの決定と同時に、まち割りがはっきりしている「中堀」の存在が専門家では歴史的価値が高いと言われているが、指定された場合、駐車場の問題をどう考えるか。
9	11	菊地とも子	1 観光振興について	(1) 三津谷の登り窯について ア 喜多方市の民俗文化財指定としての産業遺産の考え方について イ 観光客に対する対応の仕方について ウ 運営管理のあり方について
			2 ポイント制度の活用について	(1) ヘルスケアポイントについて ア 健康づくりへの取り組みに特典を与えるヘルスケアポイントの認識と考え方について
			3 胃がん検診について	受診率向上について
			4 合葬墓（納骨堂）の設置について	(1) 合葬墓の必要性について (2) 上ノ山墓地公園の整備について
10	5	江花圭司	1 喜多方市の情報発信について	(1) 喜多方市オフィシャルサイトについて ア リニューアルに向けての準備状況と選定結果、評価基準におけるデモ内容と見解を伺う。 イ 基幹システムである「福泉 NetCrew CMS」を仕様に入れた理由を伺う。 ウ 全職員がコンテンツ作成、更新、管理ができるようになるのか、研修等の詳細を伺う。 エ 喜多方市の場合、観光の側面を視野に入れると市民以外の利用頻度が高いと

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>思われるが、その配慮をどのように反映させるのか伺う。</p> <p>(2) 市関連サイトとの連携と情報発信について</p> <p>ア 市オフィシャルサイトと市の物産商品、ふるさと納税対象商品情報の発信、物産販売サイトとの連携について見解を伺う。</p> <p>イ 市オフィシャルサイトと宿泊、農泊情報サイトとの連携について見解を伺う。</p> <p>ウ 散在する市の関連サイトが各々情報発信しながら、市オフィシャルサイトが各サイトから最新ニュースを抽出し情報発信をできると思うが見解を伺う。</p> <p>エ 市オフィシャルサイトへの広告バナー掲載と市関連サイトのバナー掲載についての見解を伺う。</p>
			2 「ローラースポーツ・ストリートスポーツ」の振興について	<p>(1) オリンピックの追加種目に審査通過したローラースポーツ(スケートボード、インラインスケート等)の振興に関して、「若者に魅力的な種目」、「アート性が強く魅力あるスポーツ」と捉えられるようになってきているが市の見解を伺う。</p> <p>(2) 公園長寿命化計画において公園にテーマを設け、ストリートスポーツができるよう地面の舗装を計画に入れることは可能か伺う。</p> <p>(3) 市の未利用地、未利用施設において短期的に活用実験等ができると思うが見解を伺う。</p>
1 1	4	関本美樹子	1 教育政策について	<p>昨今、平成 28 年度の夏の参院選から適用される「18 歳選挙権」への対応が市民の話題となっている。本市の県立高校等の 18 歳の生徒及び 18 歳以上の勤労者が選挙権を持つための「主権者教育」を市はどのように押し進めて行くのか伺う。</p> <p>(1) 生徒に対し選挙の持つ意味と意識高揚をどのように指導されて行くのか伺う。</p> <p>(2) 政治的な中立性の確保は、どのようにされるのか伺う。</p>
			2 行政改革の取り組みについて	<p>去る 7 月に市民に向けて市財政の現状と改革の取り組みが示された。その中では、平成 22 年度から 26 年度までの取り組み成果と 27 年度から 28 年度までの 2 年間で計画期間とする新たな大綱が打ち出されている。今後</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				どのように取り組んで行くのか伺う。 (1) 職員提案制度の推進結果が 10 件で「判定 A」とした根拠を伺う。 (2) 職員の意識改革と人材育成の推進が「判定 A」であることの具体的な成果内容を伺う。
1 2	1 2	小 林 時 夫	1 今後の住環境整備について	(1) 定住促進について ア 若者に対する支援策について イ 新築、増改築に対する支援策について ウ 空き家の利活用に対する支援策について (2) 市営住宅について ア 市営住宅の保証人について イ 市営住宅の浴槽等について
			2 今後の選挙制度について	(1) 18 歳選挙権における今後の取り組みについて ア 教育委員会の取り組みについて イ 選挙管理委員会の取り組みについて (2) 期日前投票における宣誓書について
1 3	1 5	長 澤 勝 幸	1 空き家対策について	(1) 市空き家対策基本方針に基づく対応について (2) 法に基づく市の対応について
			2 地方創生事業の展開について	(1) 喜多方市総合戦略策定の進捗状況について (2) 総合戦略事業の具体的な進め方について
1 4	2 2	齋 藤 勘 一 郎	1 有害鳥獣について	(1) 熊、猿、イノシシ、鹿の出没、目撃数について (2) 農作物等への被害状況について (3) 鳥獣被害対策実施隊の出動状況について (4) 猿接近警戒システムについて (5) 今年度の有害鳥獣捕獲目標頭数について (6) 有害鳥獣用電気柵について (7) 新規狩猟免許取得について (8) 集落環境診断について
1 5	1 6	齋 藤 仁 一	1 蔵の湯新源泉井掘削工事について	(1) 新源泉井掘削工事が随意契約により行われたが、その理由について伺いたい。 (2) 新源泉井掘削工事の契約金額は、どのように算出したのか伺いたい。 (3) 随意契約の理由の一つに「不測の事態が生じた時に、市にとって不利益な状況とその後の対応に支障が生じる恐れがある」としているが、相手業者と市との間で契約を

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>取り交わしたのか伺いたい。</p> <p>(4) 競争入札を行わなかったことによる「最少の経費で最大の効果を上げる」財政運営の基本的な考えが踏襲されなかったのではないかと伺いたい。</p>
			2 観光行政について	<p>(1) ふくしまデスティネーションキャンペーンについて、喜多方市内の入り込み客は当初の見込み人数、昨年取り組んだ入り込み客との比較でどうだったのか伺いたい。</p> <p>(2) 経済効果は昨年比も含めてどうであったのか伺いたい。</p> <p>(3) 市の財政負担額とその効果について、どのように評価をしているのか伺いたい。</p> <p>(4) 今回のキャンペーンの評価と課題は何か。また、今後どう生かし対応する考えなのか伺いたい。</p> <p>(5) 大川喜多方サイクリングロード（県道：会津若松熱塩温泉自転車道線）の全長完成予定はいつか。また、市としての利活用について伺いたい。</p>
			3 地域再生について	<p>(1) 喜多方市の農山村集落支援の現状と実態について、また、その課題と課題解決に向けた取り組みについて伺いたい。</p> <p>(2) 地域再生のためには、人的整備と財政援助の整備が必要であるが、市としてどのように対応するのか伺いたい。</p> <p>(3) 冬期間の除雪体制については、現在、高齢者世帯等除雪支援事業が一定の役割を果たしているが、この事業に該当しない高齢者世帯があることも事実である。今後、降雪期を迎えるにあたって、行政区単位での除雪機の配備など制度導入を含めた対応について伺いたい。</p>
16	2	矢吹 哲哉	1 なぜ、今、新市建設計画の変更なのか	<p>(1) 「新市建設計画」とは何か。また、どのようにして、いつ計画されたのか。</p> <p>(2) なぜ、今、変更が必要なのか。また、いつまで決定し、変更の主な内容は。</p> <p>(3) 住民への周知、合意形成は、どのようにするのか。</p> <p>(4) 個別項目について</p> <p>ア 山都町民センター整備事業の内容は何か。</p> <p>イ 山都町開発センター設備整備事業の内容は何か。また、なぜ、別事業での検討なのか、実施にならないのか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 公共施設等適正管理計画について	(1) 新市建設計画の変更、公共施設等適正管理計画とあるが、どういう内容なのか。また、計画はいつまでに策定予定なのか。 (2) 総務省で求めている「公共施設等総合管理計画の策定」に基づく管理計画なのか。 (3) 総務省は、「計画」の策定にあたっての指針(平成 26 年 4 月 22 日付)を出しているが、その主な内容はどのようなものか。 (4) 福島県でも策定が行われているが、県立病院跡地、商業高校跡地について、市として要望等は行っているのか。また、その内容は。 (5) 小中学校の統廃合計画を国は策定する事を求めているが、市はどのように進めていくのか。
			3 市の地方創生計画及び総合戦略について	(1) 現在の進行状況と今後の予定について (2) 具体的に検討している項目と主な内容は。 (3) 旧市町村ごとの地域計画づくりの考えはあるのか。 (4) 福島県の創生計画、総合戦略への市の要望等は出しているのか。
			4 市の「行政改革」及び「定員適正化」計画について	(1) 市の「行政改革(行革大綱や定員適正化計画)」は、現在、どのようになっているのか。26 年度で第 2 期計画は終了しているが、27 年度の計画は。 (2) 現業部門の退職者不補充の方針について ア 28 年度新採用でも採用なしだが、なぜ、採用しないのか。 イ 不補充方針を今後も続けるのか。
17	1	田中和加子	1 「安全保障関連法案」について	(1) 「安全保障関連法案」の衆議院での強行採決に対し、抗議の意思表示を求めるが、市長の見解を伺いたい。 (2) 参議院での強行採決反対、法案の撤回と廃案を求める声を国に届けて頂きたいが、市長の見解を伺いたい。
			2 「非核平和のまち宣言」都市としての取り組みについて	(1) 被爆 70 年、被爆の実相を知らせる取り組みが必要と考えるが、市長の見解を伺いたい。 ア ホール、図書館及び各公民館への被爆写真パネルの展示について イ 広島、長崎平和記念式典への中学生の代表派遣について ウ 庁舎への垂れ幕の掲揚について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			3 高齢者等の生活支援について	(1) 消費増税と年金引き下げで厳しさの増す中での高齢者の生活実態について、市長の認識を伺いたい。 (2) 市の施策の充実を求めるが、市長の見解を伺いたい。 ア 福祉灯油の実現について イ クーラー設置や修理費用の補助について ウ 除雪補助の住民税非課税世帯以外への拡大について エ 市営住宅の洋式トイレ(便器)、浴槽、風呂釜の設置について
18	13	渡部 勇一	1 市長の政治姿勢について	(1) 人口減少について ア 人口減少の要因は何と考えるか。 イ 今後、人口減少の推移をどう分析しているのか。 ウ 中長期の人口減少対策の考え方(方向性)は何か。 (2) 男女共同参画社会について ア 女性の社会参画を進める施策は何か。 イ 女性の就業と出産・育児との関係をどうとらえているのか。 ウ 社会教育指導員の現在の立場をどのように考えているのか。 エ 社会教育指導員の処遇、職務内容の改善が必要と思うがどうか。
19	14	坂内 鉄次	1 斎場(火葬場)建設と市営墓地(市管理)について	(1) 火葬場建設の進捗状況について (2) 市営(市管理)墓地の現状と今後について (3) 上ノ山墓地公園拡張整備事業について (4) 上ノ山墓地公園の周辺整備について
			2 子ども・子育て支援事業について	(1) 認定こども園の給食と通園バスについて (2) 待機児童の解消に向けて
20	17	田中 雅人	1 市長の政治姿勢について	戦後から 70 年、平和の問題で日本はその岐路に立っている。よもやの憲法の解釈改憲で戦後が戦前になろうとしている時、国会の議論を見守ればいいのかとの立場は許されないと考える。 (1) このような時、憲法の擁護義務をもつ立場の市長として、市民への市長のメッセージが必要ではないか伺う。 (2) 先の戦争は「侵略」だったとの認識はあるか伺う。 (3) 安倍政権が多用する「積極的平和主義」

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				について市長の見解を伺う。
			2 原発事故における市の対応について	(1) 福島第一原発の事故後の状況と現状への認識を伺う。 ア 各号機はメルトスルー状態なのか否かを伺う。 (2) 事故から 4 年半後となる本市の放射能汚染状況を伺う。 ア 法的除染の数値となる毎時 0.23 マイクロシーベルト超えの箇所があるが、市の対応を伺う。 (3) 市内で発生した除染物質の保管、処理について
			3 市営住宅・公営施設の環境整備について	(1) 市営住宅の水洗化の現状を伺う。 (2) 市営住宅の結露問題を伺う。 (3) 市有となる特殊建築物の定期報告の扱いについて ア 各課の定期報告について指摘事項の内容を伺う。 イ 各課の指摘事項についての市の対応を伺う。
21	6	渡部信夫	1 子どもの安全対策について	(1) プール利用時の安全対策について伺います。 (2) 熱中症対策について伺います。
			2 受動喫煙防止対策について	(1) 本庁舎の分煙コーナーについて伺います。 (2) 分煙のまちづくりについて伺います。
			3 水田農業の経営支援について	(1) 水田作付実態について伺います。 (2) 経営所得安定対策の加入実態について伺います。 (3) 環境保全型農業の取り組み実態について伺います。
			4 日本酒のまちづくりについて	世界一の日本酒のまちとしての活性化策について伺います。